

第66回日本産業衛生学会近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成30年6月16日 13:00～17:00

場所：大阪市立大学医学部学舎4階大講義室

《プログラム》

13:00～14:00 近畿地方会総会

14:00～17:00 学術講演会
(特別講演、シンポジウム)

— 学術講演会 —

テーマ：産業保健活動における法的諸問題

近年、産業保健現場では、メンタルヘルス対策、過重労働対策（長時間労働対策・健診後の事後措置・メタボ対策など）を中心に、化学物質対策、腰痛・熱中症対策、受動喫煙防止対策などが実施されてきました。また国も多くの法・省令の改正や通達などを発信し方向性を示してきました。さらにはストレスチェック制度、治療と仕事の両立支援制度を定め、また働き方改革に向けて法案を整備中です。一方、わが国は少子高齢化に伴う生産年齢人口が減少していく中、職域では今まで経験した事のない時代を迎えようとしています。このような変化のスピードに、国の法律も産業保健現場の対策も必ずしも追いついていないのが現状かと思われまます。

本学術講演会では、産業保健活動に必要な法的諸問題について討議を深め、最近の労働判例の傾向や対策についての知識も体得して頂きたい、今回の特別講演とシンポジウムを企画しました。

特別講演では、山田弁護士から、「働き方改革における産業保健活動と法的諸問題」についてご講演いただきます。引き続きシンポジウムでは、産業医、産業看護のそれぞれの立場から、産業保健現場での法的課題や疑問点について話題提供をいただき、最後に山田弁護士を含めて総合討論を行いたいと思います。演者並びに座長の労をおとりいただく先生方を含め皆様のご協力に感謝申し上げます。

会員皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

<特別講演> (14:00～15:30)

座長：阪神労働衛生コンサルタント事務所
廣部 一彦先生

「働き方改革における産業保健活動と
法的諸問題」

演者：山田総合法律事務所 所長
山田 長伸先生

<シンポジウム> (15:30～17:00)

「職域産業保健活動と法的課題・疑問点
～これでいいのだろうか?～」

座長：パナソニック健康保険組合
健康管理センター 伊藤 正人先生
Harmony～Life&Work 藤吉 奈央子先生

シンポジスト：

- 1) 産業医の立場から
森本産業医事務所 代表 森本 英樹先生
- 2) 産業看護職の立場から
積水化学工業株式会社人事部
健康推進室 保健師 荒木 郁乃先生
- 3) 総合討論
山田 長伸先生(コメンテーター)
森本 英樹先生
荒木 郁乃先生

<参加費>

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料
産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000円
非産衛学会員：2,000円
非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000円
*なお定員は250名で、事前申込者を優先いたします。

<単位申請>

日本医師会産業医認定単位：生涯（専門3単位）申請中